

事業の背景・目的

- ・川崎市におけるアルゼンチンアリの侵入状況を調査し、これを踏まえて、効果的・効率的な防除を実施し、関係者への協力依頼等を通じて防除体制の構築を図る。
- ・調査結果に基づく効果的な手法を用いて防除を実施することで、本種の川崎市内における根絶を目指す。このことにより、生態系等に係る被害を防止し、生物多様性の保全が行われることを目的とする。

事業の内容

・アルゼンチンアリ防除事業

1 モニタリング調査の実施

- ・本種が確認された周辺の範囲について、粘着トラップ法等を用いた調査を行い、本種の侵入状況の把握を行った。

2 防除の実施

- ・調査結果に基づき、適切な防除範囲・防除手法を設定し、ベイト剤やアリ防除用液剤を用いた防除を実施した。



トラップ調査の様子



ベイト剤設置の様子

得られた成果

事業の成果

- ・令和3年度は本事業により調査を行い、本種の進入状況の把握を行うとともに防除を行った。
- ・また、防除の効果を把握するための調査を行った。地域の関係者に対して情報提供を行うことにより、本種の防除の必要性を訴え、関心を喚起するとともに、防除活動への協力を要請した。

活動継続の見通し、事業終了後の展開等

- ・本交付金事業終了後、本種の根絶に至っていない場合は、防除事業を継続する予定である。事業成果として得られた、本種の生息区域の縮小・生息密度の低密度化や、防除手法・体制等を活用しながら、防除活動を継続する。